

令和2年度事業計画

我が国では、世界に類を見ないスピードで少子高齢化が進んでおり、団塊世代が後期高齢者となる2025年を境に人口が減少に転じ、社会構造や生活環境の変化等、時代の大きな転換点にあります。

今後少子高齢化が進行するなか、世帯構成の変化や生活困窮などの諸事情により、「複合的な課題を抱えている方」や「社会に孤立している方」、「制度の狭間にある方」などが、これまで以上に増加していくことが見込まれており、こうした方々も含めた福祉課題に、地域としてどのように向き合い、対応していくかが問われています。本会では、このような地域ニーズを敏感にとらえ、住み慣れた地域の中で安心して暮らせる地域づくりを推進し、「福祉の心」の繋がりを大切にしたい取り組みを展開し、幅広い市民・機関・団体の方々と手を携えながら、支えあいのあるまちづくりを目指します。

さて、本会では法人化50周年を迎える節目の年になりました。節目にあたり設立の原点にあらためて立ち返り、「地域で共に助け合い、支えあうまちづくり」の実現に向けて、より一層住民参加を促進し、市民ニーズに応えたきめの細かい事業展開を推進します。

なお、本年度の事業の重点項目は次のとおりです。

1 福生市地域福祉活動計画（ささえあいプランふっさ）の推進

本年度は、「第4期福生市地域福祉活動計画」（ささえあいプランふっさ）の計画最終年度となります。本会が実施している多様な相談支援活動や幅広いネットワークを活かし、地域の力を高めることに繋がるよう、行政をはじめ地域の住民や各種機関・団体等と連携・協働を深めながら、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の着実な推進と計画の実現を目指します。

2 社協らしい事業の展開

指定管理を含め、各種事業について、市民・行政・各種団体等の負託に応え、地域福祉を推進する中核的団体として、より一層充実した事業運営に努めます。

自らの事業や取り組みを「点検・整理」し、行うべき事業や取組みを着実に実践し、社協としての基礎体力を高め、地域福祉推進の専門機関として住民、行政、他の専門職からの信頼を高めるための「社協ブランド（らしさ）」の確立を図り、「社協ブランド」の浸透・深化に向けた取り組みを進めていくことに努めます。

3 災害に備えた社協の体制強化

近年多発している自然災害に備え、地域の住民や各種機関・団体と連携して、小地域福祉活動など日常的な地域の支え合いの仕組みづくりを構築し、更に、福生市との「災害時におけるボランティア活動等に関する協定書」に基づき、行政と協働して災害に備えた取り組みの強化に努めます。

また、災害時に本会による災害ボランティアセンターを迅速かつ適切に設置運営できるよう、平時からの実践的な研修や実地による訓練に取り組むことに努めます。

4 時代に対応した社協の体制づくり

財源確保が非常に厳しい状況下において、引き続き経営体制づくりの強化に努め、より効果的に事業を推進するための業務改善、組織の見直しを継続して検討・実施します。更に、社協職員としての資質の向上を図り、職員が専門性を発揮し、新たな事業の開発・実施に努めます。

5 法人化 50 周年記念事業の実施

本会は昭和 45 年 3 月 27 日に社会福祉法人として法人化され、本年で 50 周年を迎えることとなりました。これに伴い、記念式典を挙るとともに、50 年の社協の歩みをとどめた記念誌を発行します。